

【第29回】

2024年「新成人の恋愛・結婚に関する意識調査」

新成人の恋愛・結婚に関する意識は、意欲低下傾向。

「交際経験あり」と答えた女性は70%を超え

過去8年で最も高い結果になった一方、男性は2016年以来の低水準に。

「将来結婚したい」新成人は78.0%で昨年の結果を維持し、

結婚したい理由に「将来子供が欲しい」と答えた割合は過去7年間で最も低い結果に。

20歳と18歳ではSNSでの出会いへの意識の違いが顕著。

結婚相手紹介サービスを提供する株式会社オーネット（本社：東京都中央区 代表取締役社長：梶村徹）は、2024年に成人式を迎える新成人618名（男女各309名）に対して、「恋愛・結婚に関する意識調査」を実施致しました。

株式会社オーネット(<https://onet.co.jp/>)は結婚紹介サービス事業を運営し、2024年4月に設立44周年を迎えます。1996年1月に調査を開始した、この新成人に対する恋愛・結婚に関する意識調査も今年で29回目を迎えることになりました。この新成人への意識調査を通して、単なる恋愛・結婚に対する意識や行動調査の結果のみならず、その時々を経済や社会情勢、また自然災害等を含む様々な社会背景による影響等を含めた考察を織り交ぜて、これまでの29年間「新成人の恋愛・結婚に関する意識調査」をリリースしてまいりました。株式会社オーネットは日本の恋愛・結婚に関する意識調査を、あらゆる角度から今後も継続して実施してまいります。

2023年に日本の人口は14年連続で減少し、47都道府県すべてで人口の減少が確認されたり、出生数が過去最低の80万人を下回ったりと、少子化が急速に進展し、政府が「次元の異なる少子化対策」を掲げ議論を巻き起こすなど、少子化問題が日常的に取り上げられています。日本では婚姻数が2年後の出生数に連動するとされ、コロナ禍で社会の混乱の影響を受けて減少傾向が加速した婚姻数の動向も注目されています。こうした背景を踏まえて、今後の日本の担い手である今年新成人を迎える若者の恋愛・結婚に対する意識、考え方、そして行動がどのようなものなのか、また昨年との比較、過去からの推移などを含めて本年の調査結果をご報告いたします。

本調査では例年、成人式を迎える20歳になる男女を対象として意識調査を実施してまいりましたが、2022年4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたことを受けて、今年からこれまでと同様の20歳の意識調査に加えて、18歳を迎える新成人618名（男女各309名）にも同様の調査を実施いたしました。本稿では20歳の男女の調査結果の変遷をご紹介しますとともに、特に20歳と18歳で違いが顕著な項目に関しても取り上げてまいります。

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

(1) 成人式を迎える新成人(20歳)の「恋愛」意識に関する調査

1. 「これまでに交際した経験がありますか？」

- ・「交際経験あり」は全体で 61.7%と、全体では昨年(62.9%)から 1.2 ポイント減少。
- ・男性 53.1%(昨年 61.2%)、女性 70.2%(昨年 64.7%)で、2016 年以降で女性は初めて 70%を超えた一方、男性は 2016 年の 47.0%に次ぐ低水準で、男女差が 17.1 ポイントと大きく開いた。

2. 「現在交際している異性がありますか？」

- ・「現在交際している異性あり」は全体で 29.4%と、昨年から 5.1 ポイント減少。
- ・男性は 25.2%と、昨年(33.3%)から 8.1 ポイントで大幅に減少し、2020 年以降の増加傾向から低下に転じた。

3. 「現在交際している異性とどうやって知り合いましたか？」

- ・全体回答の 1 位は「大学(専門学校)、大学院などの知り合い」で、2 位は「幼稚園～高校時代の知り合い」、3 位に「ネット (SNS・アプリ) で知り合った」と、上位 3 位が昨年と同じ結果になった。
- ・女性は昨年に続いて「ネット (SNS・アプリ) で知り合った」が 1 位に。

4. 「今後異性との交際を積極的にしていきたいですか？」

- ・「今後異性との交際を積極的にしていきたい」は全体で 43.4%と昨年 (47.4%) から 4.0 ポイント減少。
- ・男性が 45.3%で昨年(47.6%)から 2.3 ポイント減少、女性は 41.4%で昨年(47.3%)から 5.9 ポイント減少と男女ともに低下。

5. 「SNS で知り合った異性との恋愛はありますか？」

- ・「SNS で知り合った異性との恋愛はあり」の回答は全体 48.2%で昨年 (53.2%) から 5.0 ポイント減少。
- ・男性 50.5%で昨年(53.1%)から 2.6 ポイント減少、女性 46.0%で昨年(53.4%)から 7.4 ポイント減少と特に女性で低下。

(2) 成人式を迎える新成人(20歳)の「結婚」意識に関する調査

1. 「将来結婚したいですか？」

- ・「結婚したい」と回答した人は全体で78.0%と、昨年(78.6%)とほぼ横ばい。

2. 「結婚したい理由は何ですか？」

- ・「好きな人と一緒にいたい」「家族がいると幸せ」「子供が欲しい」が例年通り上位3項目を占める。
- ・「子供が欲しい」は過去7年間で最低だった昨年(36.8%)をさらに1.9ポイント下回る34.9%と2018年以降で最低。

3. 「何歳で結婚したいですか？」

- ・結婚を希望する年齢は、例年通り「25歳」が男女ともに最も割合が高い結果に。
- ・25～30歳で結婚したい新成人が75.1%で、「25歳以降」希望の割合(78.2%)は昨年とほぼ横ばい。

4. 「結婚したら子供が欲しいですか？」

- ・「結婚したら子供が欲しいですか？」に対し「はい」と回答した人は全体で58.9%と、昨年(64.1%)から5.2ポイント減少し、2017年以降初めて60%を下回った。

5. 「結婚相手に求める条件は何ですか？」

- ・「価値観が合うこと」「趣味が合うこと」「顔や身長など、見た目が好みかどうか」が昨年に続き上位3項目を占めた。
- ・男女で最も差が出たのは「年収」の項目で、女性(33.6%)男性(9.7%)と、昨年と同様に女性が男性より20ポイント以上高い結果に。

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

(3) 新成人(18歳)の「恋愛・結婚」意識に関する調査・20歳との差異

1. 「現在交際している異性がありますか？」

・「現在交際している異性あり」は全体で22.2%と、20歳の29.4%よりも7.2ポイント低い結果になった。

2. 「恋愛のチャンスは恋人探しアプリよりもInstagramのほうが多いと思う？」

・「はい」と答えた新成人(18歳)は全体で39.5%と、20歳(29.8%)よりも9.7ポイント高い結果となり、2歳差でも世代の差が見られた。

3. 「将来結婚したいですか？」

・「結婚したい」と回答した18歳は全体で75.4%と、20歳(78.0%)より2.6ポイント低い結果だった。

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

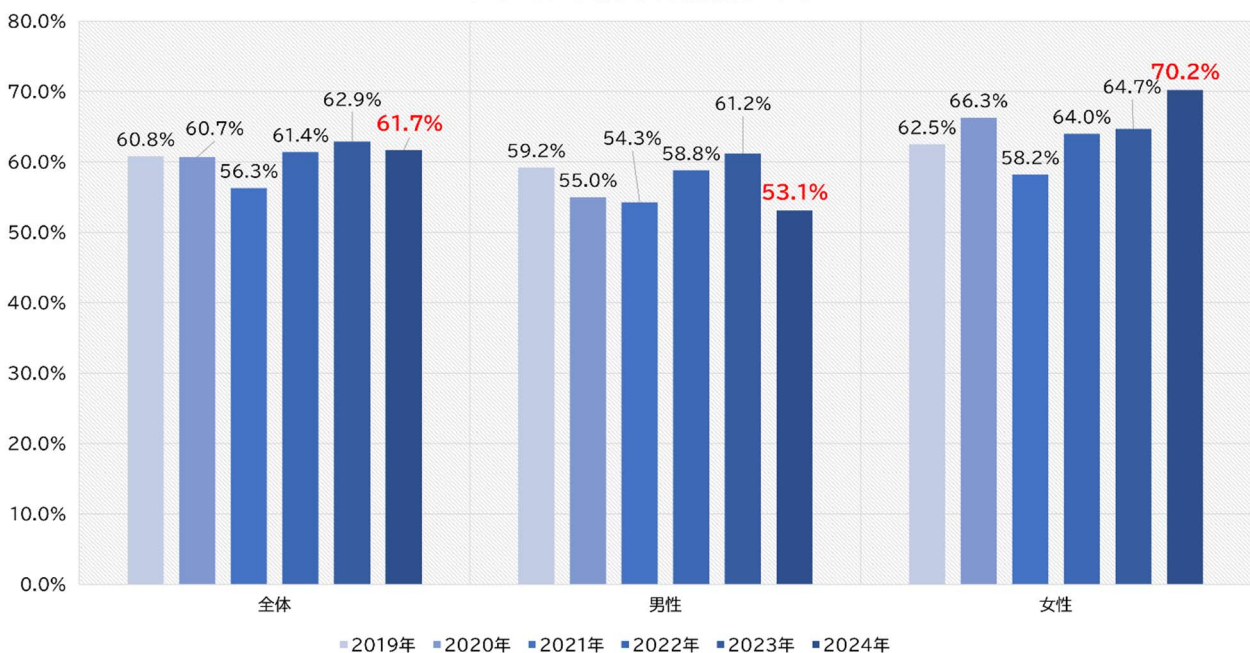
(1) 成人式を迎える新成人(20歳)の〈恋愛〉意識

1. 「これまでに交際した経験がありますか？」

- ・「交際経験あり」は全体で 61.7%と、全体では昨年(62.9%)から 1.2 ポイント減少。
- ・男性 53.1%(昨年 61.2%)、女性 70.2%(昨年 64.7%)で、男性は低下した一方、女性は過去 8 年で最高。

「これまでに交際した経験がありますか？」という質問に対して全体で 61.7%が「交際経験あり」と回答し、過去 7 年間で最高の 62.9%だった昨年から 1.2 ポイント減少となりました。男女別にみると、男性は昨年(61.2%)から 8.1 ポイント減少して 53.1%と、2016 年以降では 2016 年の 47.0%に次ぐ低水準となったのに対して、女性は初めて 70%を超え、男女差が 17.1 ポイントと大きく開きました。「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換する中で、男性は交際未経験の割合が増加した一方、女性の方が交際に向けてより積極的に行動したと考えられます。

これまでに交際した経験がある



2. 「現在交際している異性がありますか？」

- ・「現在交際している異性がいる」は全体で 29.4%と、昨年(34.5%)から 5.1 ポイント減少。
- ・男性は昨年(33.3%)から 25.2%へと 8.1 ポイント大幅に減少し、2021 年以降の増加傾向から低下に転じた。

「現在交際している異性がありますか？」という質問に対し、全体で 29.4%が「いる」と回答し、過去 7 年間で最高

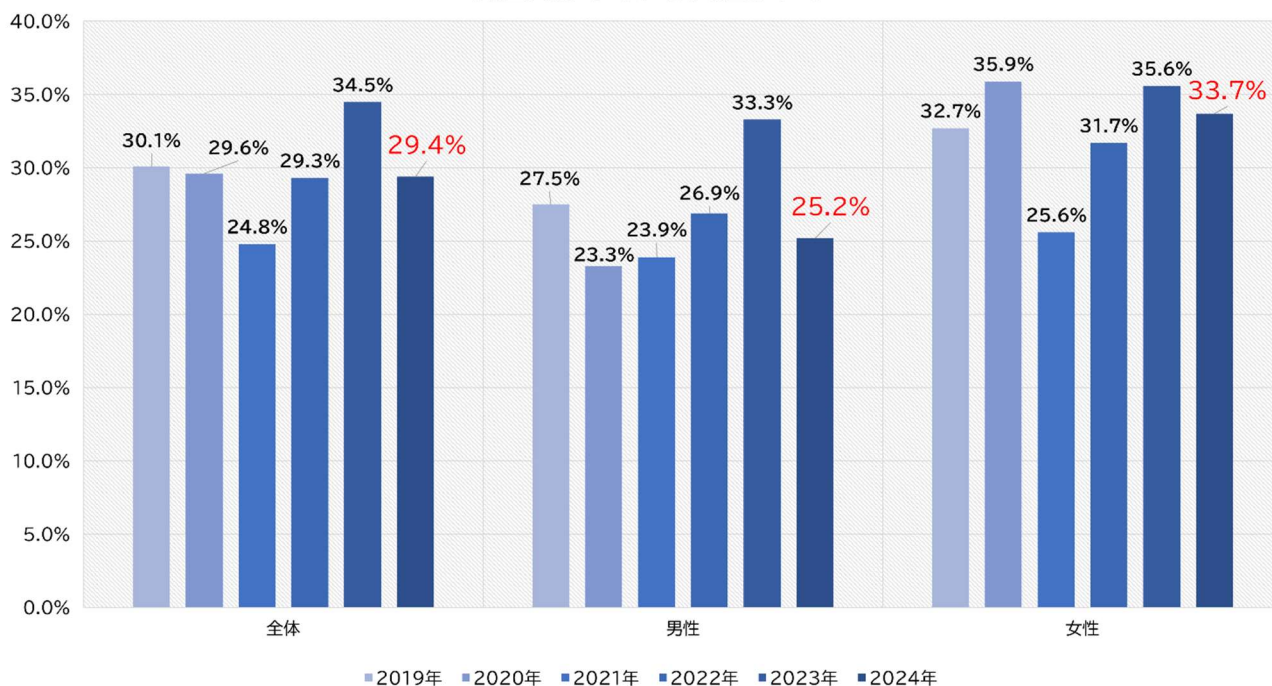
【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

だった昨年の34.5%から5.1ポイント減少しました。男性は2021年から3年連続で増加しており、昨年は2016年以降初の30%台となりましたが、2024年は昨年(33.3%)から8.1ポイント減少の25.2%と4年ぶりに低下に転じ、コロナ禍の影響を受けた2021年(23.9%)~2022年(26.9%)並みの水準になりました。女性も昨年の35.6%から1.9ポイント減少の33.7%となり、男女ともにコロナ禍明けの自粛解禁で交際に積極的になり交際相手がいる率が増加した昨年の勢いが落ち、過去5年の平均並みに落ち着いたと見られます。

現在交際している異性がいる



1996年からの年次推移（次グラフ）でみると、大きく次の4つの流れがありました。

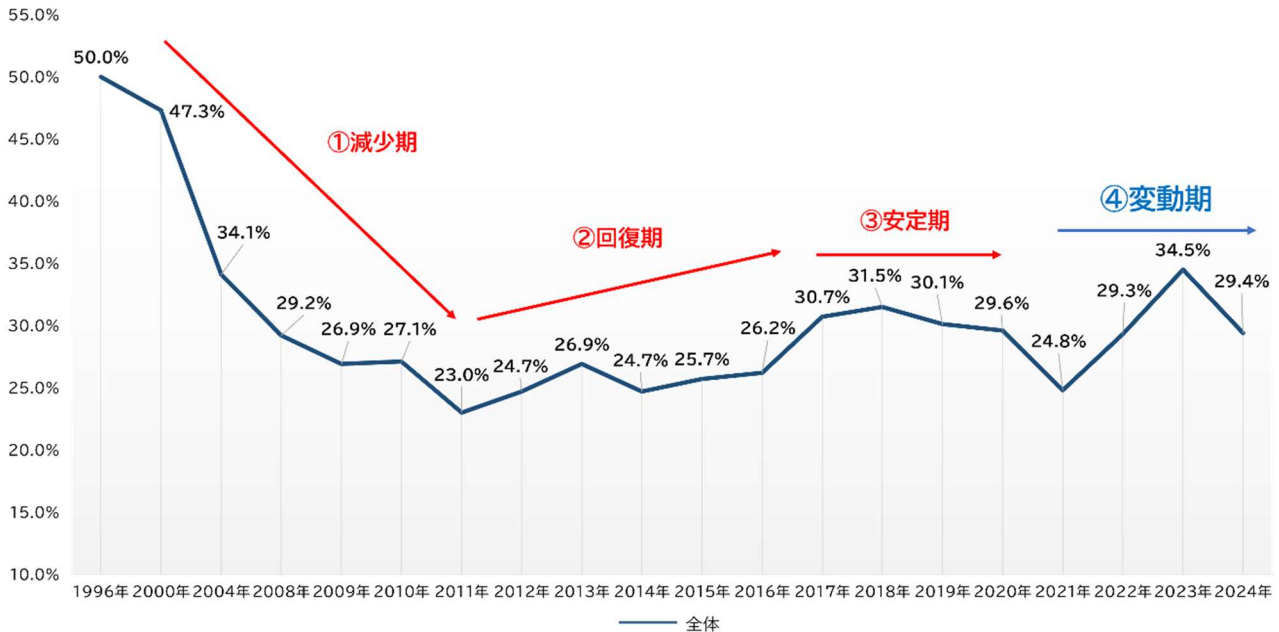
- 1 1996年(50.0%)~2011年(23.0%)までの「交際相手あり」の割合が大きく下降した期間
- 2 2011年(23.0%)~2018年(31.5%)までの緩やかに回復した期間
- 3 2018年(31.5%)~2020年(29.6%)のほぼ同水準で微減、
- 4 2020年(29.6%)~2024年(25.8%)まで毎年、前年から約5ポイントの変動

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

「現在交際している異性がいる」割合 (1996年ー2024年 年次推移)



1996年から2011年までは若者の草食化や恋愛離れが進み、交際している異性がいる新成人の割合は減少傾向が続きましたが、2011年3月の東日本大震災をきっかけに人とのつながりを求める気持ちが高まったためか回復傾向に転じます。その後安定期を経て、2021年はコロナ禍の影響を受けて落ち込み、2022年から2023年にかけては2年連続で増加していましたが、2024年には3年ぶりに減少に転じました。2021年以降の4年間はコロナ禍の中オンライン上での出会いが広がり、行動制限の段階的な規制緩和を経て、人との関わり方が大きく変化した社会情勢を反映してか前年から約5ポイントの変動が続いており、新成人の交際状況が変化していることが伺えます。

3. 「現在交際している異性とどうやって知り合いましたか？」

- ・全体回答の1位は「大学(専門学校)、大学院などの知り合い」で、2位は「幼稚園～高校時代の知り合い」、3位に「ネット(SNS・アプリ)で知り合った」と上位3項目が昨年と同じ結果に。

交際相手がいると回答した男女182名に、「相手とどうやって知り合ったか」について質問しました。全体のトップは昨年と同様、「大学(専門学校)、大学院などの知り合い」(28.0%)となり、昨年(24.4%)から3.6%増加しました。

男女別にみると、男性では「大学(専門学校)、大学院などの知り合い」が35.9%で、昨年の28.2%から7.7ポイント増加し、2位の「幼稚園～高校時代の知り合い」の19.2%(昨年27.2%)を16.7ポイント差と大きく引き離してトップとなり、3人に1人の割合となりました。男性では「大学(専門学校)、大学院などの知り合い」と「幼稚園～高校時代の知り合い」の2項目の合計が過半数となり、学校での出会いがきっかけで交際につながったパターンが多いという結果になりました。

【報道関係者 問い合わせ先】

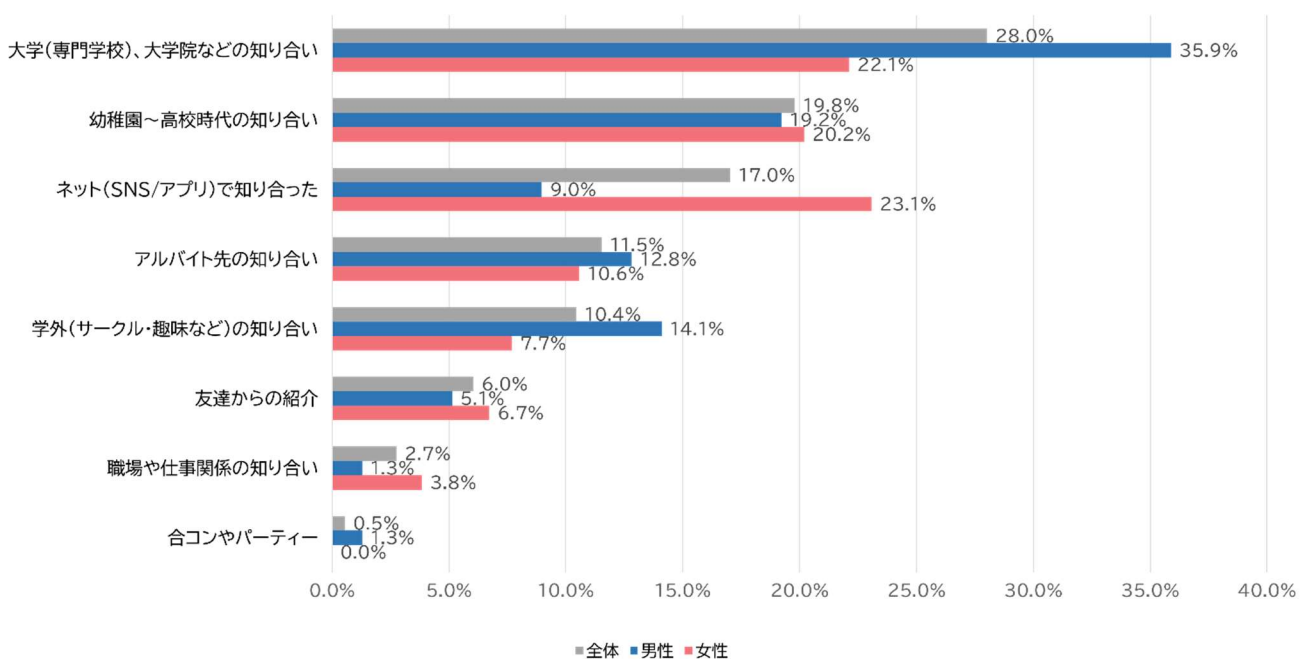
株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

全体で3位の「ネット（SNS・アプリ）で知り合った」は女性のみでの回答では1位(23.1%)となり昨年の22.7%から0.4ポイントの微増となり、男性(9.0%)と14.1ポイント差と、男女差が最も大きくなりました。女性の2位は「大学(専門学校)、大学院などの知り合い」が22.1%(昨年20.9%)で、3位の「幼稚園～高校時代の知り合い」の20.2%(昨年20.9%)と僅差でした。新成人では女性の方がオンラインでの出会いから交際に発展するケースが多いことがわかります。

前項2の質問で現在交際相手がいると答えた新成人は男性が25.2%で昨年から減少し、女性は33.7%と男性より8.5ポイント高いこと背景には、本項の質問への回答からわかるように女性の方がSNSやアプリでの出会いがきっかけの交際にも積極的なことで、実生活で出会わないような異性へと出会いの機会を広げているのに対して、男性はネットでの出会いから交際に発展する機会が少ないことが一因としてあると考えられます。

現在交際している異性とどうやって知り合いましたか？ (男性n=78 女性n=104)



4. 「今後異性との交際を積極的にしていきたいですか？」

・「今後異性との交際を積極的にしていきたい」は全体で43.4%と、昨年(47.4%)から4ポイント減少。

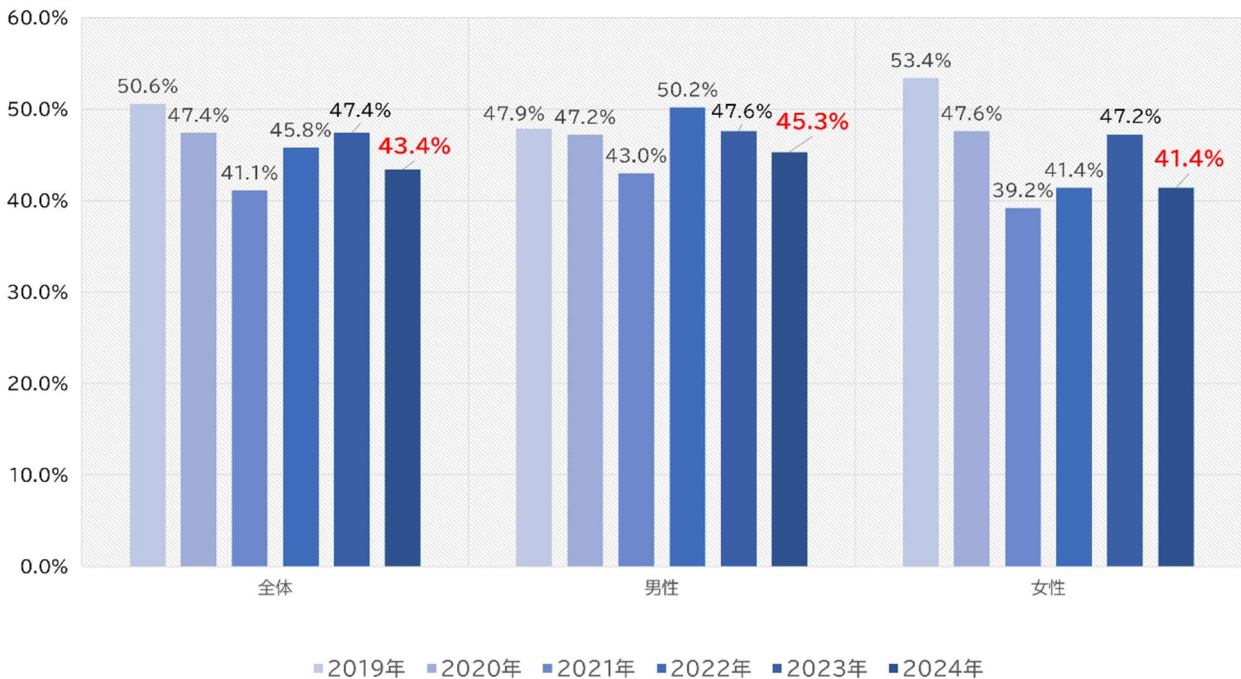
男女618名に「今後異性との交際を積極的にしていきたいですか？」と質問したところ、全体で43.4%の男女が、「積極的にしていきたい」と回答しました。2022年から2023年にかけて、男性は前年比-2.6ポイント(2022年:50.2%、2023年47.6%)で減少し、女性は+5.9ポイント(2022年:41.4%、2023年47.3%)で増加と男女で異なる動きを見せていましたが、2024年には男性は前年比-2.3ポイント、女性は-5.9ポイントと男女ともに減少するという結果になり、2019年以降ではコロナ禍の影響を受けて落ち込んだ2021年に次ぐ低水準(女性は2022年と同値)となりました。

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

今後異性と交際を積極的にしたい



5. 「SNS で知り合った異性との恋愛はありますか？」

- ・「SNS で知り合った異性との恋愛はあり」の回答は全体 48.2%で昨年（53.2%）から 5.0 ポイント減少。
- ・男女ともに過去 7 年で最高だった昨年(女性は 2019 年と同値) から減少、女性は昨年から-7.4 ポイントの 46.0%で過去最低に。

「ネットによる出会い」について、「SNS で知り合った異性との恋愛はあり」の回答は全体で 48.2%と、昨年(53.2%)から 5.0 ポイント減少しました。

2017 年以降、2022 年を除いて例年女性の方が男性よりも高い数値で推移してきましたが、2024 年には女性は昨年(53.4%)から 7.4 ポイント減少して男性(50.5%)より 4.5 ポイント低い 46.0%となり、過去 8 年で最も低かった 2017 年の 46.3%を下回って過去最低の数値になりました。前項 3 の質問への回答に見られるように、女性は現在交際している異性とネット（SNS・アプリ）で知り合った新成人の比率が増えているものの、肯定派の母数が増えているわけではないということがわかります。

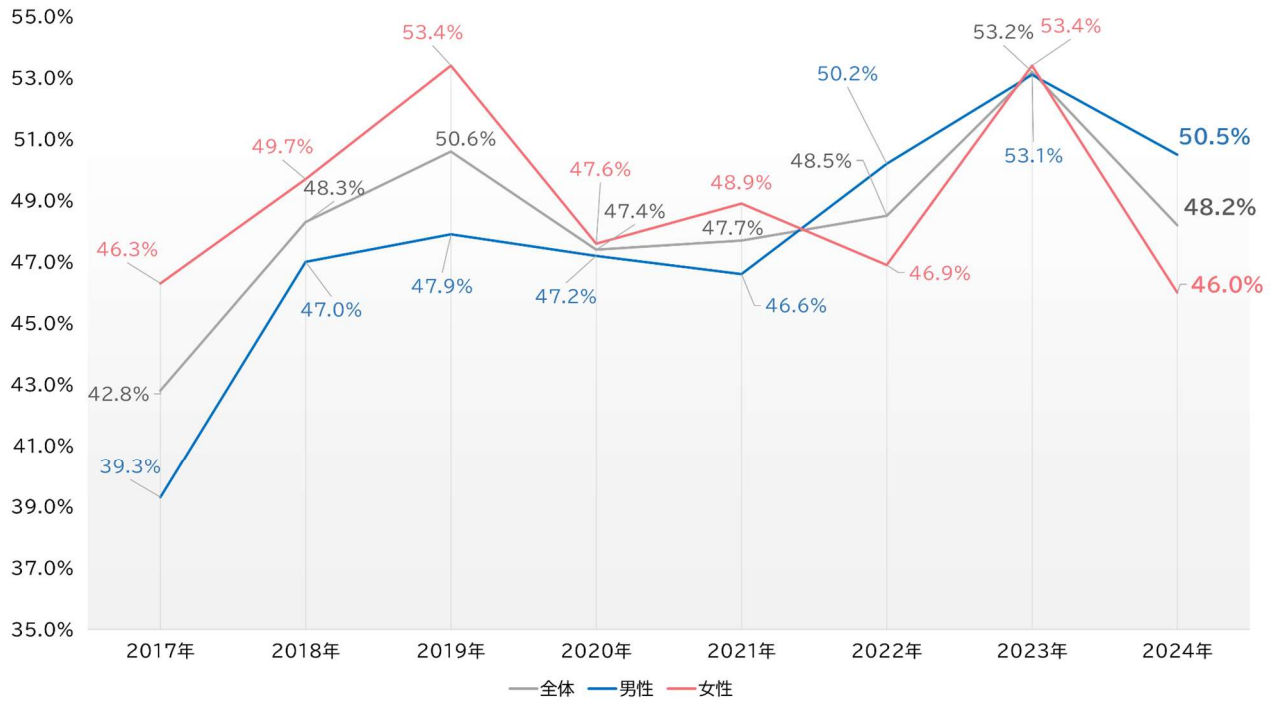
男性は 50.5%と、昨年(53.1%)からは 2.6 ポイント減少したものの、3 年連続で過半数が肯定派となり、2017 年以降で昨年に次いで 2 番目に高い数値となりました。

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

SNSで知り合った異性との恋愛はありだと思う



【報道関係者 問い合わせ先】

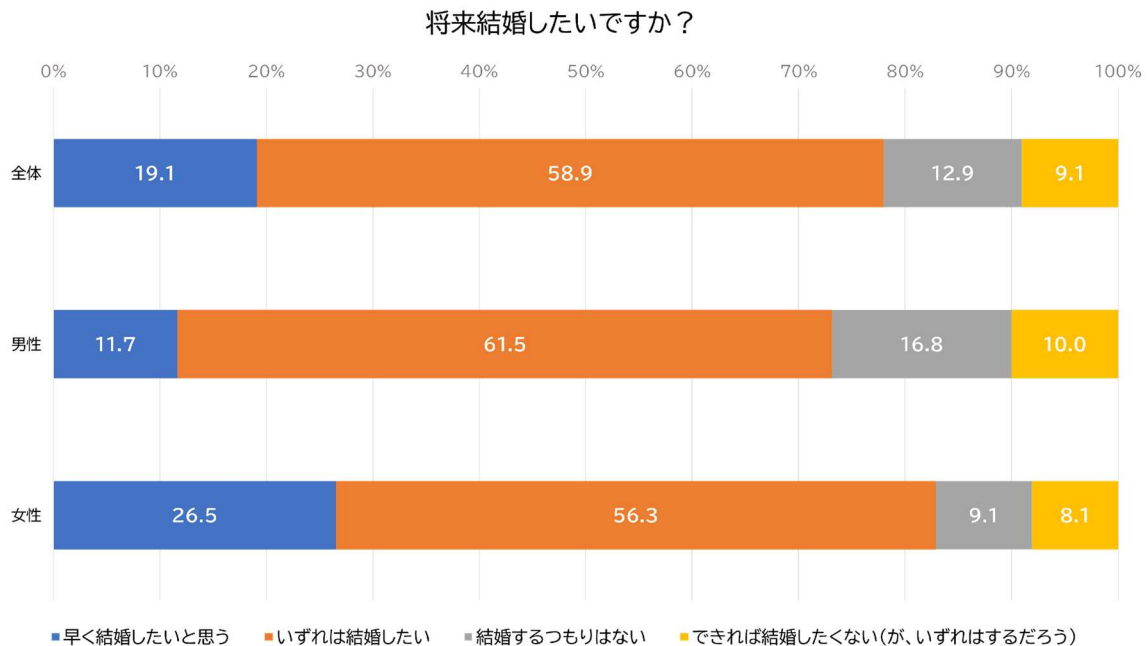
株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

(2) 成人式を迎える新成人(20歳)の〈結婚〉意識

1. 「将来結婚したいですか？」

- ・「結婚したい」と回答した人は全体で78.0%と、昨年(78.6%)とほぼ横ばい。



新成人の結婚観について、「早く結婚したい」「いずれは結婚したい」のいずれかを選択した割合は、全体で78.0%となり、昨年の78.6%とほぼ横ばいの結果でした。男女それぞれの内訳をみると、「いずれは結婚したい」と回答したのは男性が61.5% (昨年62.8%)、女性は56.3% (昨年55.7%)と男性はやや減少、女性はやや増加となりましたが、「早く結婚したい」と答えた女性は昨年(23.6%)より2.9ポイント増加の26.5%に対して、男性は昨年(15.2%)から3.5ポイント減少の11.7%となり、男女差は昨年の8.4ポイントから14.8ポイントに広がりました。

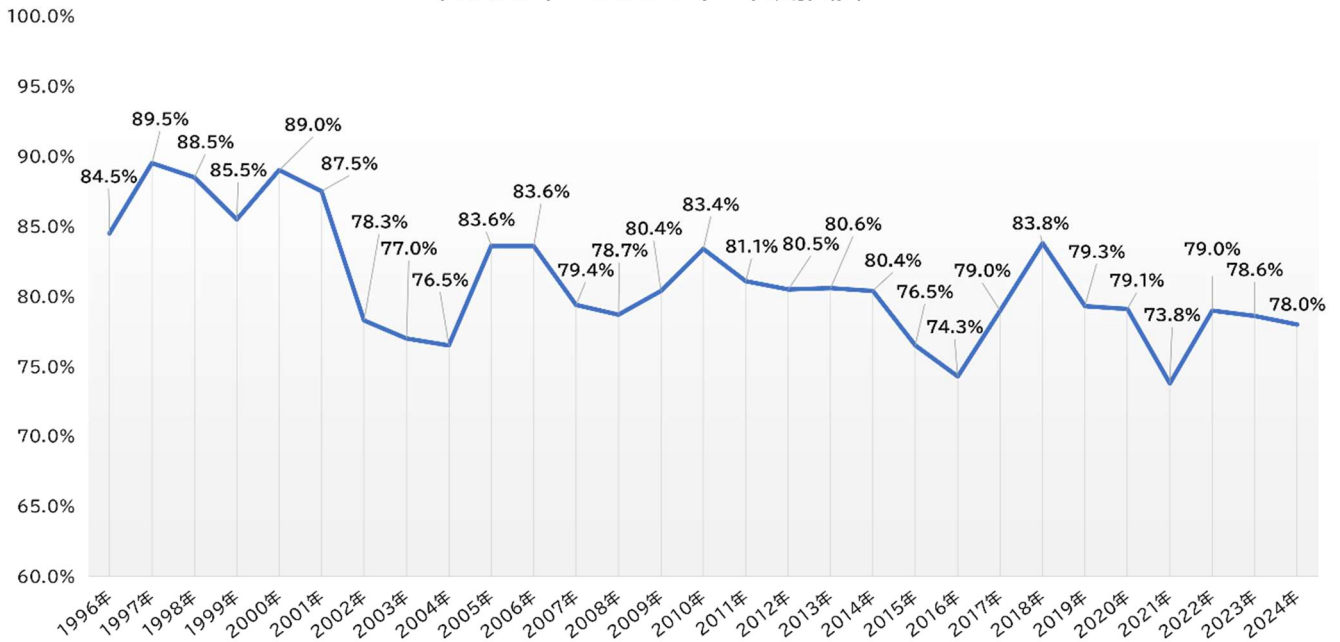
1996年からの年次推移をみると、「結婚したい」新成人の割合は年々低下しています。2021年にはコロナ禍の影響があったと思われ、過去最低の73.8%まで落ち込んでおり、2022年には2020年の水準にまで回復したものの、2023年から2年連続で減少しており、近年の減少傾向が継続しています。

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

「結婚したい」新成人の割合
(1996年ー2024年 年次推移)



2. 「結婚したい理由は何ですか？」

- ・「好きな人と一緒にいたい」「子供がほしい」「家族がいると幸せ」が例年通り上位3項目を占める。
- ・「子供が欲しい」は過去7年間で最も低い34.9%に。

「結婚したい」理由については、「好きな人と一緒にいたい」「子供が欲しい」「家族がいると幸せ」の3つが例年と同じく上位の回答となりました。トップの「好きな人と一緒にいたい」は昨年(62.6%)から5.5ポイント減少、2番目に多い「家族がいると幸せ」は昨年(55.1%)から1.6ポイント減少、「子供が欲しい」は昨年(36.8%)から1.9ポイント減少し、過去7年間で最低値となりました。「子供が欲しい」と回答した新成人を男女別にみると、女性は41.0%と昨年(42.4%)から1.4ポイント減少、男性は27.9%と昨年(31.1%)から3.2ポイント減少と男性の方がより低下しており、最も男女差が大きく13.1ポイントに広がりました。4番目の「経済的、精神的に安定したい」は昨年(26.7%)から2.8ポイント増加して、昨年から2年連続で増加しており、過去7年間の最高値となりました。

過去7年間の推移をみると、2018年から2022年までは「子供が欲しい」の割合が54.5%(2018年)~49.8%(2022年)とやや減少傾向ではあるものの50%前後で推移していましたが、2023年に前年から13ポイント減少の36.8%まで急落し、2024年にはさらに減少と、過去7年間において質問に設定している結婚したい理由の9項目の中で最も顕著な変化が見られ、昨今の社会情勢を反映して、新成人の子供を持つことへの意識が変遷していることが伺えます。

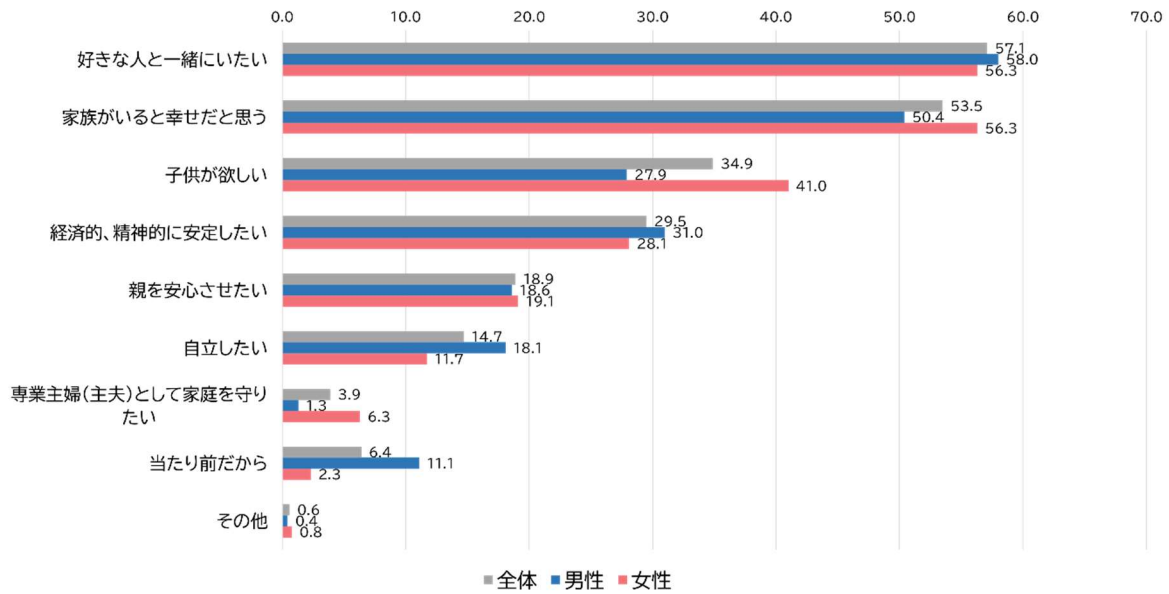
【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

結婚したい理由は何ですか？(複数回答)

(男性n=226 女性n=256)



3. 「何歳で結婚したいですか？」

- ・結婚を希望する年齢は、「25歳」が例年通り男女ともに最も割合が高い結果に。
- ・25～30歳で結婚したい新成人が75.1%で、「25歳以降」希望の割合が昨年(73.9%)から1.2ポイント増加。

「結婚したい」と回答した482名に、何歳で結婚をしたいかを質問したところ、男女ともに最も割合が高かった年齢は、昨年同様25歳(25.9%)でした。以降は27歳(14.1%)、28歳(13.7%)、26歳(12.4%)、24歳(9.1%)と続きました。昨年2位だった26歳が4位に後退しており、昨年2位・3位だった28歳・27歳がそれぞれ1ランク繰り上がりました。

昨年から最も増加したのは男性の28歳(16.8%)で、昨年(11.6%)から5.2ポイント増加しており、逆に最も減少したのは男性の25歳(23.5%)で、昨年(27.8%)から4.3ポイント低下となり、男性では昨年よりも結婚を希望する年齢が上がっている傾向が見られました。

このボリュームの大きかった「25～30歳」が占める割合は男女全体で75.1%となり、新成人の4人に3人は25

【報道関係者 問い合わせ先】

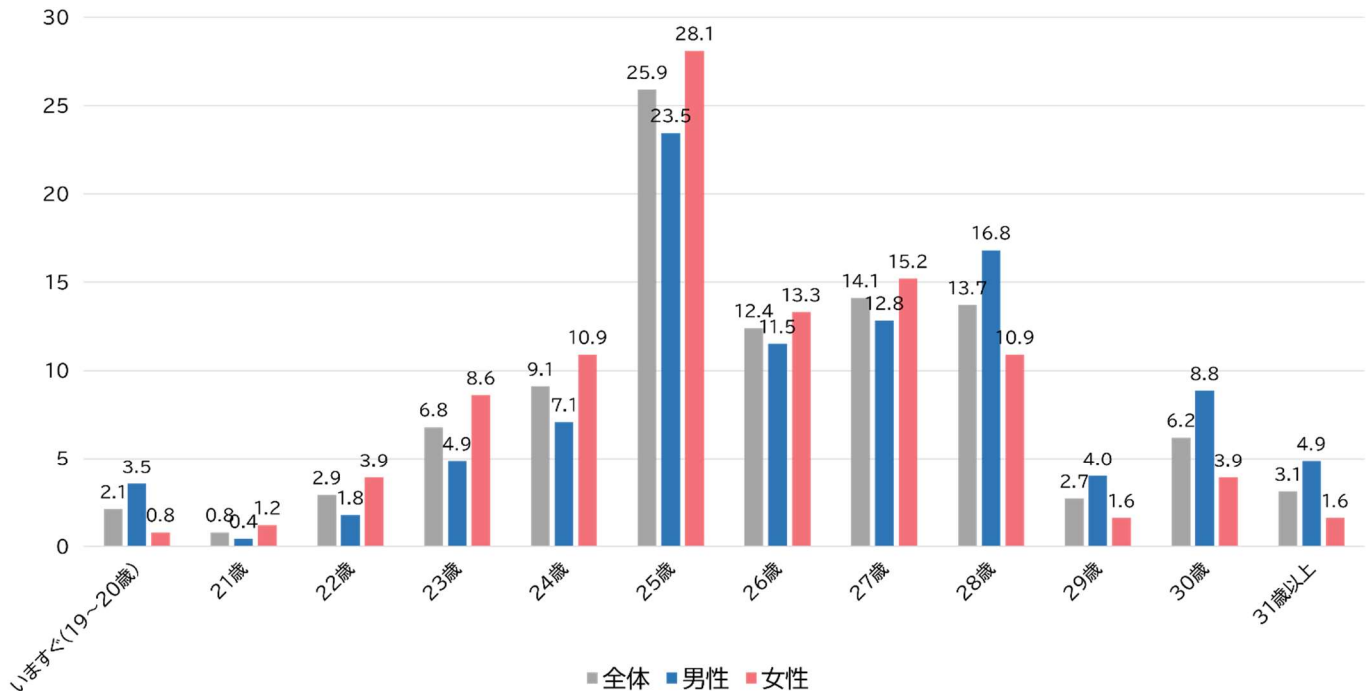
株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

歳～30 歳の間に結婚をしたいと考えていることがわかりました。

何歳で結婚したいですか？

(男性n=226 女性n=256)



4. 「結婚したら子供が欲しいですか？」

・「結婚したら子供が欲しいですか？」に対し「はい」と回答した人は全体で 58.9%と、昨年(64.1%)から 5.4 ポイント減少し、2017 年以降初めて 60%を下回り最低に。

男女 618 名に、「あなたは結婚したら子供が欲しいですか？」と質問したところ、男女合わせて 58.9%が「欲しい」、16.8%が「欲しくない」、24.3%が「わからない」と回答しました。

男女別にみると、男性は子供が「欲しい」が 54.7%で昨年(63.4%)から 8.7 ポイントと大きく減少し、女性は子供が「欲しい」が 63.1%で昨年(64.7%)から 1.6 ポイントの微減となりました。

子供が欲しい割合は男女全体で 2017 年以降初めて 60%を下回り、過去 8 年で最低となりましたが、「わからない」と回答した割合は昨年(21.0%)から 3.3 ポイント増加して 2017 年以降最高の 24.3%となっており、新成人の段階では子供を持つことを想像できない人が増えていると考えられます。

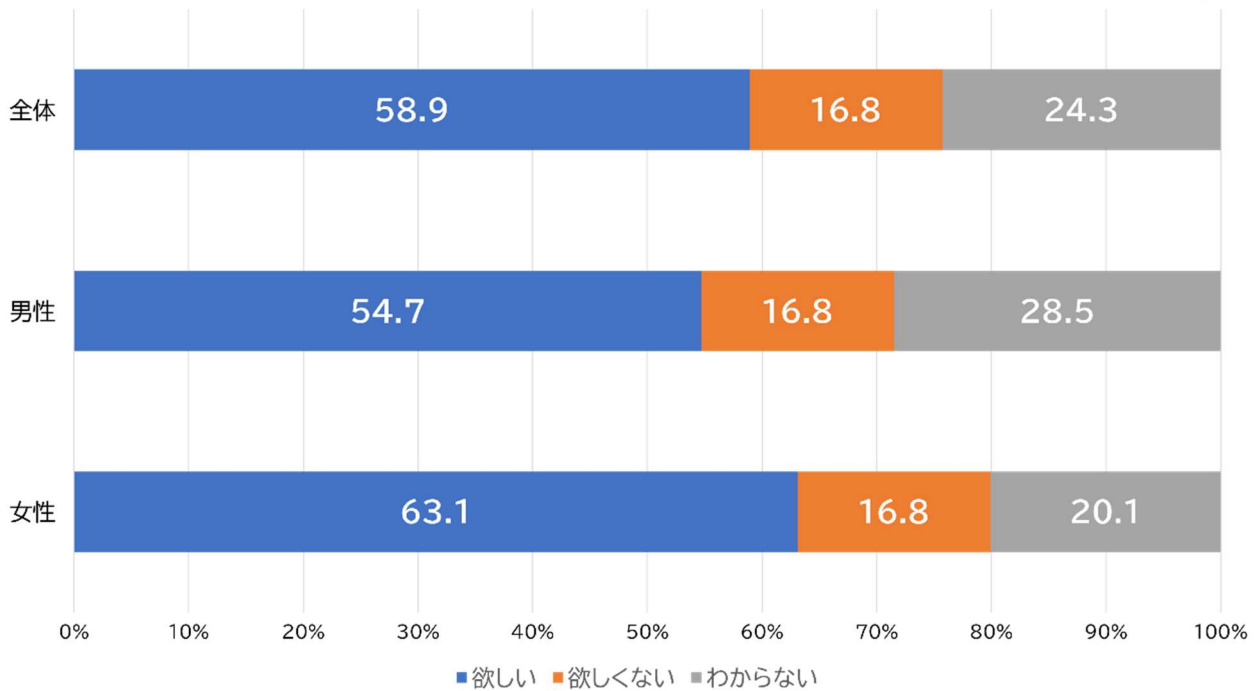
【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

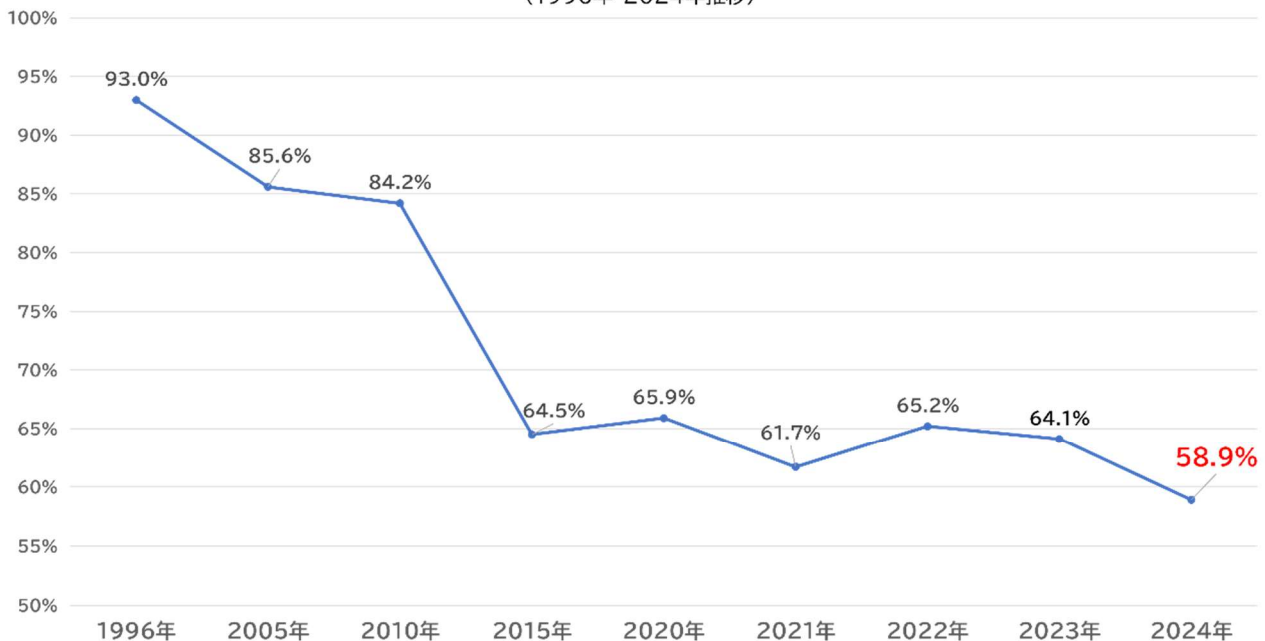
結婚したら子供が欲しいですか？

(n=618)



1996年の第1回調査では結婚したら「子供が欲しい」という回答が93%、その後2005年85.6%、2010年84.2%、2015年64.5%と下降し、2020年には65.9%、2021年にはコロナ禍の影響で61.7%まで落ち込みましたが、2022年には65%台に回復し、2015年以降は65%前後で推移していたものの、2023年から2年連続で低下し、

結婚したら「子供が欲しい」割合 (1996年-2024年推移)



【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

2024年には60%を下回るという結果になりました。

5. 「結婚相手に求める条件は何ですか？」

・上位3項目は「価値観が合うこと」「趣味が合うこと」「顔や身長など、見た目が好みかどうか」で昨年と同じ結果になった。

・男女で最も差が出たのは「年収」の項目で、女性が男性より20ポイント以上高い結果に。

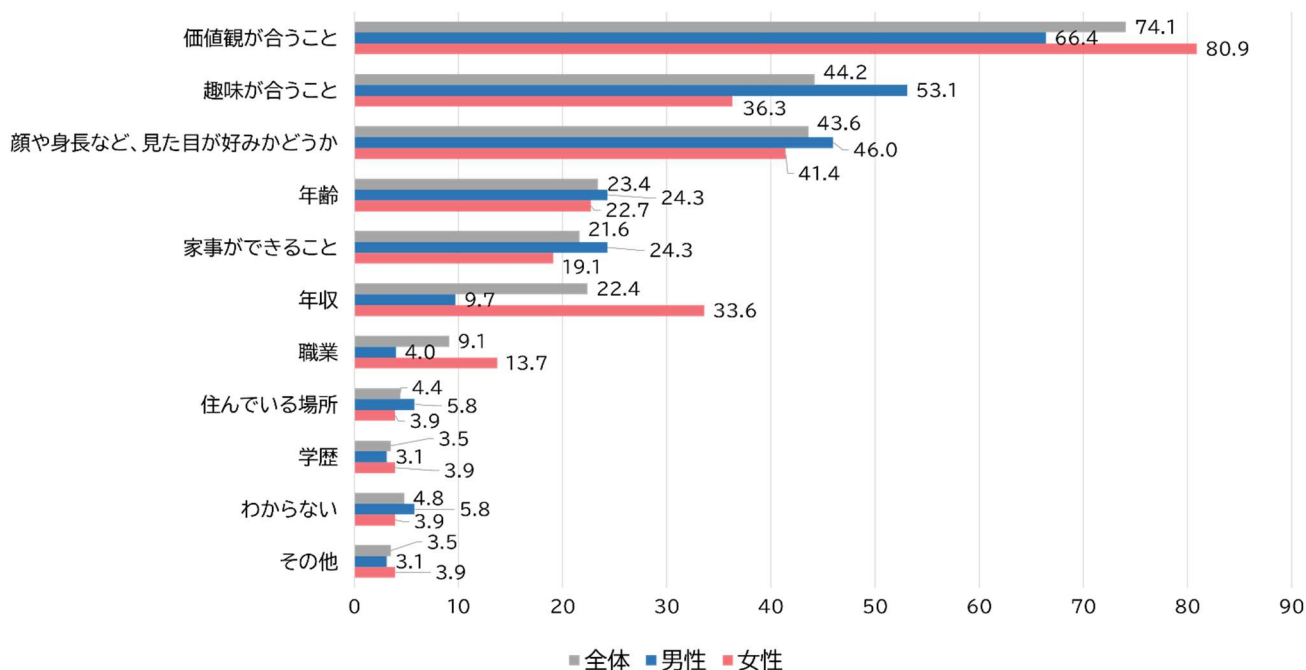
将来「結婚したい」と回答した482名に昨年に続いて「結婚相手に求める条件」について調査したところ、トップに「価値観が合うこと」、次に「趣味が合うこと」「顔や身長、見た目が好みかどうか」が続き、上位3項目は昨年と同じ結果となりました。

男女の内訳をみると、最も男女差が大きかったのが「年収」で、女性(33.6%)が男性(9.7%)よりも23.9ポイント高く、次いで差が見られたのが「趣味が合うこと」で、こちらは男性(53.1%)が女性(36.3%)を16.8ポイント上回りました。

男女ともに価値観や趣味が合うことを重視する傾向にありますが、「見た目が好みかどうか」も男女ともに40%以上が求める条件として挙げており、女性では昨年(34.7%)から6.7ポイント増加して2位になっています。男性では「年齢」(昨年33.6%)「価値観が合うこと」(昨年50.2%)がそれぞれ昨年から9ポイント以上減少する一方、「家事ができること」が昨年(19.1%)から5.2ポイント増加しました。

結婚相手に求める条件は何ですか？(複数回答)

(男性n=226 女性n=256)



【報道関係者 問い合わせ先】

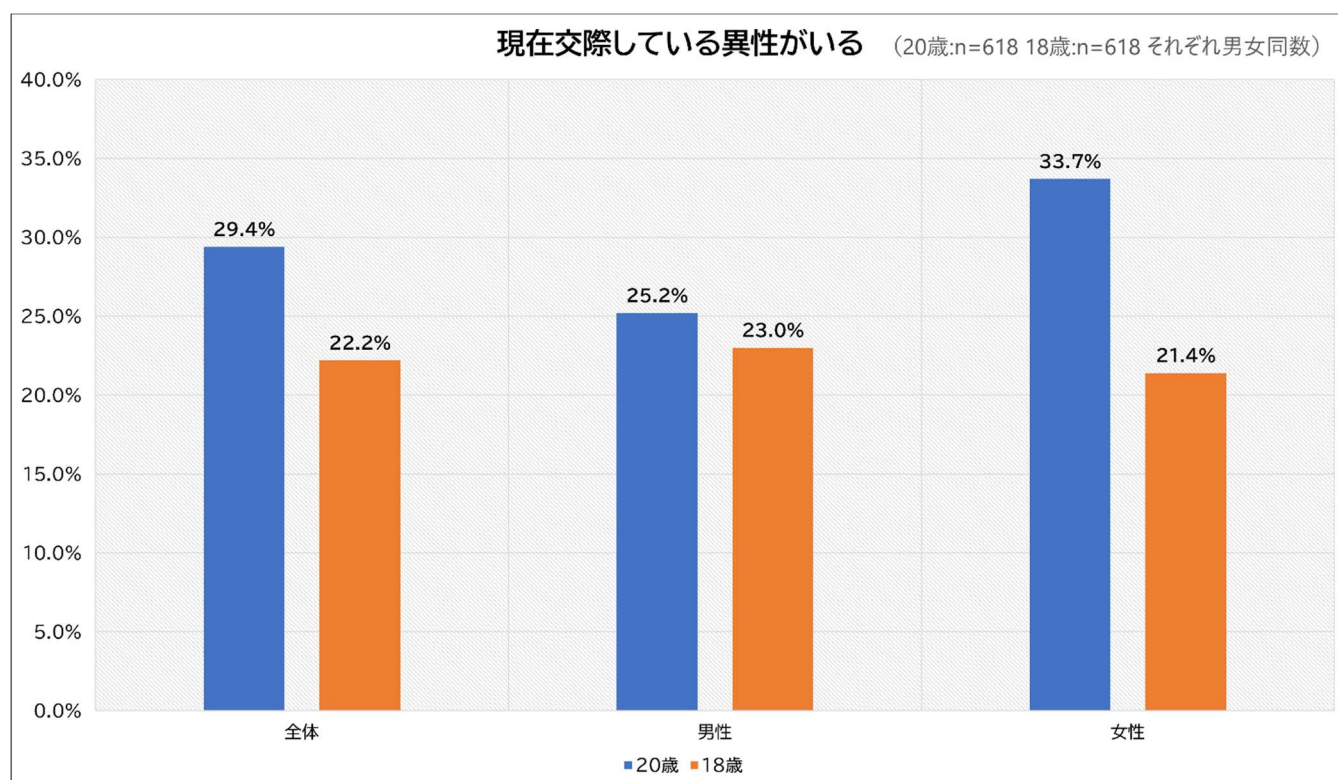
株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

(3) 新成人(18歳)の「恋愛・結婚」意識に関する調査・20歳との差異

1. 「現在交際している異性がありますか？」

・「現在交際している異性あり」は全体で 22.2%と、20歳の 29.4%よりも 7.2 ポイント低い結果に。男性では 20歳(25.2%)と 18歳(23.0%)で 2.2 ポイント差、女性では 20歳(33.7%)と 18歳(21.4%)で 12.3 ポイント差と、女性の方が大きな差が見られました。18歳では交際相手がいる女性は男性より 1.6 ポイント低いですが、20歳では女性の方が 8.5 ポイント高くなっています。世代差だけでなく、18歳から 20歳の間に高校を卒業して大学や学外活動、アプリや SNS 等で交友関係が広がり異性との出会いが増えて、交際相手を見つける女性が多いのではないかと推察されます。



2. 「恋愛のチャンスは恋人探しアプリよりも Instagram のほうが多いと思う？」

・「はい」と答えた 18歳は全体で 39.5%と、20歳(29.8%)よりも 9.7 ポイント高い結果に。

・男女の内訳をみると、「はい」と答えた 18歳の女性は 44.3%と、20歳の女性(29.4%)よりも 14.9 ポイント高い結果になりました。「はい」と答えた 18歳の男性は 34.6%で、こちらも 20歳の男性(30.1%)よりも 4.5 ポイント高く、2歳差でも世代の差が伺える結果となりました。

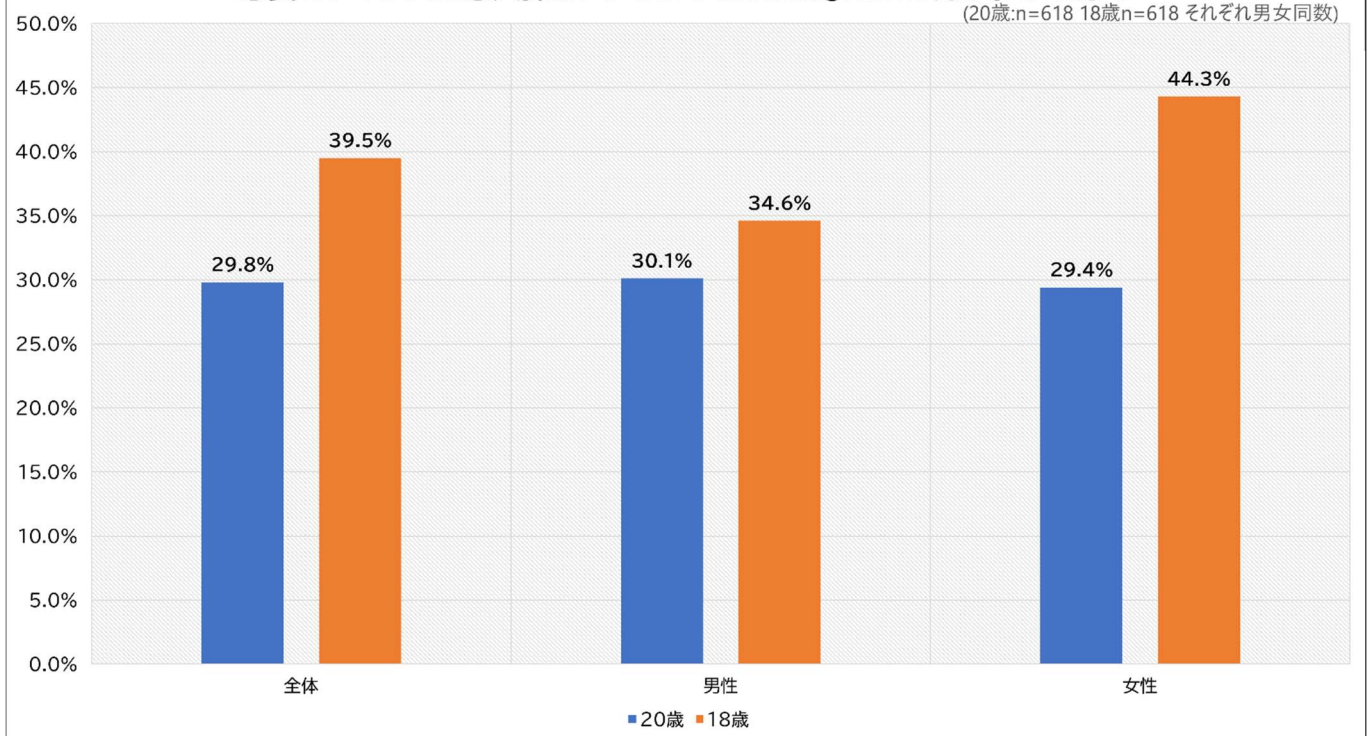
【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

恋愛のチャンスは恋人探しアプリよりもInstagramの方が多いと思う

(20歳:n=618 18歳:n=618 それぞれ男女同数)



3. 「将来結婚したいですか？」

- ・「結婚したい」と回答した18歳は全体で75.4%と、20歳(78.0%)より2.6ポイント低い結果に。

全体では18歳と20歳に大きな差は見られませんが、男女別にみると「早く結婚したい」と回答した男性は20歳(11.7%)に対して18歳(18.1%)の方が6.4ポイント高かったのに対して、女性は20歳(26.5%)に対して、18歳(20.4%)の方が6.1ポイント低く、18歳では男女差は2.3ポイントと僅差でしたが、20歳では14.9ポイントと広がっています。

18歳ではまだ結婚を現実的に考えられなかったのが、20歳では大学や社会に出て異性との出会いが増えて、交際相手がいる割合も上がることで、結婚を真剣に考えるようになった表れではないかと推察されます。

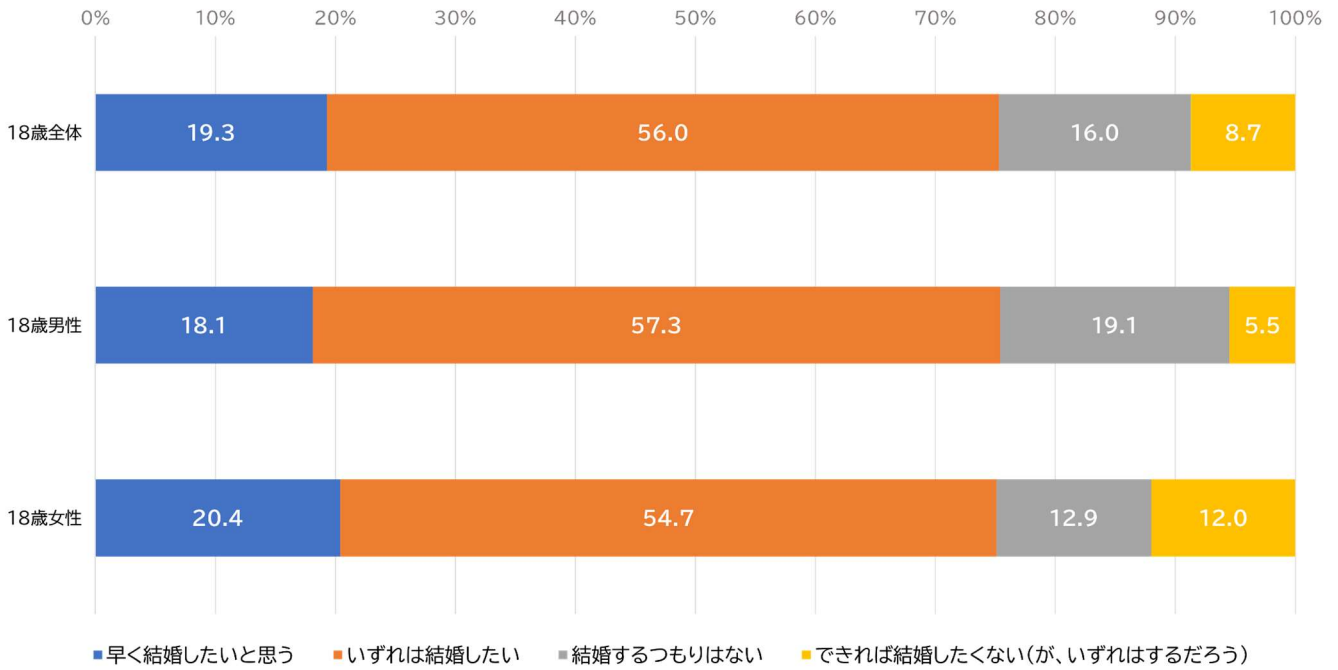
【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

将来結婚したいですか？(18歳)

(n=618)



【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

－ 調 査 概 要 －

- 調査名： 【第 29 回】 2024 年 新成人の「恋愛・結婚」に関する意識調査
- 調査地域： 全国
- 調査対象 1： 2003 年 4 月 2 日～2004 年 4 月 1 日に生まれた成人式を迎える男女(19 歳～20 歳)
- 調査対象 2： 2005 年 4 月 2 日～2006 年 4 月 1 日に生まれた男女(17 歳～18 歳)
- 調査方法： インターネットを利用したクローズ調査
- 調査日： 2023 年 11 月 27 日(月) ～ 11 月 30 日(木)
- 調査主体： 株式会社オーネット
- サンプル数： 1,236 人 (男性 618 人/女性 618 人)
 - ※20 歳： 429 名 (34.7%)、19 歳： 189 名 (15.3%)、18 歳： 411 名 (33.3%)、17 歳： 207 名 (16.7%)
 - ※表記の無い場合の単位は%です。 調査結果の数値は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計で 100%にならないことがあります。
 - ※便宜上、「2003 年 4 月 2 日～2004 年 4 月 1 日に生まれた成人式を迎える男女(19 歳～20 歳)」を「20 歳」、「2005 年 4 月 2 日～2006 年 4 月 1 日に生まれた男女(17 歳～18 歳)」を「18 歳」と記載しています。
 - ※注釈がない場合の「新成人」は「2003 年 4 月 2 日～2004 年 4 月 1 日に生まれた成人式を迎える男女(19 歳～20 歳)」を指します。
 - ※出版物・印刷物等、本資料をご使用になる場合には、“結婚相手紹介サービス「オーネット」調査”と明記ください。その際にはオーネット広報グループ宛に連絡いただきますと幸いです。
- ※ことぶき科学情報
 - 第 1 回発行は、VOL.1 1996 年 01 月「新成人の恋愛・結婚観／団塊ジュニアの意識調査」です。
 - ことぶき科学情報では、新成人の恋愛・結婚に関する意識調査をはじめ、各年代の未婚・既婚男女の恋愛・結婚に関する意識調査を様々な角度から行い、その結果を毎月リリースしています。
 - ※昨年の調査リリース等はこちらをご確認ください。 <https://onet.co.jp/company/release/>

=====

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL : 050-1790-8705 E-mail : ml-pubrelations@onet.co.jp

■■株式会社オーネット 会社概要■■



◎「データマッチング」、「WEBによる検索」、「写真による検索」、「パーティー・イベント」、「お引き合わせ」など、豊富な出会いの機会をご提供。

◎運命の相手に出会うために、「自分自身の魅力を知る」、「自分の魅力を伝える能力を高める」、「豊富な出会いの機会を通じて成婚に至る」ための、専任アドバイザーの手厚いサポートや、より素敵な、選ばれる自分になるための多様なレッスン・サービスもご提供しています。

また、男女45歳以上を対象にした中高年専門の<オーネット スーペリア>を展開し、結婚のみにこだわらない、さまざまなかたちのパートナー探しを実現するための出会いの機会をご提供しています。

- ・代表者：代表取締役社長 梶村 徹
- ・設立：1980年4月 株式会社オーネットの前身となる株式会社オーエムエムジー創立
※2020年4月、オーネットは創立40周年を迎えました
- ・沿革：2007年12月 楽天グループに事業承継、株式会社オーネット設立
2018年12月 親会社が楽天株式会社よりポラリス・キャピタル・グループ株式会社関連会社に変更
- ・本社所在地：〒104-6222
東京都中央区晴海一丁目8番12号 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ 22階

<公式ホームページ>

オーネット <https://onet.co.jp/>
オーネットスーペリア <https://onet.co.jp/superior/>

【報道関係者 問い合わせ先】

株式会社オーネット 広報グループ

TEL：050-1790-8705 E-mail：ml-pubrelations@onet.co.jp